

ジュエリー文化史研究会からのお知らせ—212—

2016.2.27

◎展覧会情報「彫嵌細工の世界」

沢村つか沙さんより

先日ご紹介ありました清水三年坂美術館の企画展に行く機会がありましたので、簡単ですがその感想です。

彫嵌細工の世界

会場：清水三年坂美術館

会期：2016年2月20（土）～5月15日（日）

<http://www.sannenzaka-museum.co.jp/kikaku.html>

本当に質のいいコレクションばかりが並び、蒔絵や螺鈿が美しい櫛も印象的だったが、刀剣の装飾美、あまり見たことのなかった煙草入れの金具の金銀彫金細工が繊細な彫金細工の中に作者の意図が感じられる完成度の高さに感銘を受けました。

その中でも特に印象深かったもの。

2変塗鞘打刀拵 川原林秀國作。使用感もあり、その持ち主のセンスと作り手の意気込みを感じ、使うほどその作り手と物と使い手が一体となってこの姿になったという（ような）感覚を覚えました。使い手か作り手の魂が感じられたのかもしれませんが。

金属と組紐や布、時に木なども実に異素材が調和よくこしらえてある。

それぞれの過程をそれぞれの職人の丁寧さを見てとれました。

ジュエリー文化史研究会

<http://www.j-bunka.jp/>

※返信の必要のある方は、以下のアドレスにメールを送ってください。

日本宝飾クラフト学院 info@jj-craft.com  
幹事戸倉博之 spina@precious-chroma.com